

部局経営方針

部局名	教育部	部局長名	川畑國敏		
①部局の使命 (組織の存在 価値)	<p>第1次薩摩川内市総合計画基本構想の施策基本方針のひとつである「地域の特色を活かした教育・文化のまちづくり」を教育目標として、主体性・創造性・国際性を備え、人間性豊かでたくましく生きる市民の育成をめざした活力ある教育を推進する。</p> <p>また、合併の一体感をさらに醸成するための「ふるさと教育」の推進と、「まちづくりの原点は人づくりである」という観点に立ち、学校・家庭・地域の協働による心豊かな人間性を育む「薩摩川内らしい教育」づくりをする。</p>				
②部局内の 経営資源	予算	当初 約45 億円			
	構成人員		職員	嘱託	計
	※	本庁	111	39	150
		支所	110	64	174
		計	221	103	324
③組織目標像	<p>[施策の目標像]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 生涯学習の推進 ○ 社会教育の推進 ○ 人権教育の推進 ○ 幼児教育・学校教育の推進 ○ 青少年の健全育成 ○ 地域文化の保存・継承・振興 ○ スポーツの振興 ○ 交流活動の推進 <p>[組織の目標像]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 職員人材育成基本方針に基づいた職員の能力開発 ○ 職員の能力が十分発揮できる組織の機能化 				
平成18年度の重点目標と主な取組み					
④平成18年度の重点目標	⑤平成18年度中に目指す 水準(指標, 目標値)		⑥具体的な取組み		
基本調査・耐震化優先度調査事業の実施	基本調査・耐震化優先度調査事業については、小・中学校校舎等の実態を調査し、長期改修計画を策定する。		・基本調査, 耐震化優先度調査事業 (H18)		
ふるさと教育, 地域間交流事業の推進	ふるさと教育については、社会科副読本「のびゆく薩摩川内市」を新たに編集し、各小学校で活用する。また、綱引き大会や薩摩川内はんや等に多くの学校が参加できるようにする。		<ul style="list-style-type: none"> ・甌島区域の学校と本土区域の学校との交流学習 (H17～) ・新市交流「春夏秋冬」事業 (H17～) ・特認校制度の充実 (H18) ・ふるさと教育の充実 		

	地域間交流事業については、少年自然の家、テレビ会議システムや新市交流「春夏秋冬」事業を活用して地域間交流を行う。	(H17～) ・小学校綱引競技大会
薩摩川内らしい教育づくりの推進	薩摩川内らしい教育づくりについては、特色ある教育活動や小学校の英語教育等を展開するため、「小中一貫教育特区」事業を行う。また、学習に対する向上心や挑戦心を育成するための「英語力向上プラン」事業を行う。更に、将来、日本、世界規模でものを考えたり、自分を磨き、郷土「薩摩川内市」に大いなる元気を与え、貢献してくれる人材を養成するために「薩摩川内元気塾」事業を行う。	・小中学校連携モデル事業（小中一貫教育特区）（H18～） ・薩摩川内元気塾事業（H18～） ・英語力向上プラン事業（H18～） ・日中友好スポーツ交流等交流事業 ・中学校中国修学旅行（H18～）
公立幼稚園の総合調整	公立幼稚園の総合調整については、アウトソーシング方針に基づき、幼稚園の統廃合を検討するため、「幼稚園適正規模等検討委員会」を設置し、一定の方向性を見出す。	・公立幼稚園の適正規模等の検討（H18） ・薩摩川内市立幼稚園適正規模検討委員会の設置
郷土芸能の国又は県指定への取り組み	郷土芸能の国又は県指定への取り組みについては、東郷文弥節人形浄瑠璃、入来神舞の国又は県指定の促進を行う。	・郷土芸能の国県指定に向けて公開、資料収集、活動（H18～）
学校給食センターの総合調整	学校給食センターの総合調整については、学校給食センターの統廃合を実施するため、施設改修等を行う。	・学校給食センター統廃合の検討、実施（H17～） ・民間委託化の検討、実施（H17～）
県民体育大会川薩大会の実施	県民体育大会川薩大会については、5月に川薩地区及び薩摩川内市の実行委員会を設立し、市民スポーツ課内に設置した推進事務局を中心に、関係団体等の協力を得ながら、9月15日から17日までの大会を成功させる。	・第60回県民体育大会川薩大会の開催（9月15日～17日）